

政府は戦没者の遺骨を救わなければならない 国会集会

去る1月27日の参議院予算委員会で立憲民主党の白眞勲議員が、沖縄戦南部戦没者遺骨土砂問題について、菅首相、岸防衛大臣に質問・追求しており、この遺骨土砂問題が少しずつ良い方向に動き出しております。

「平和をつくり出す宗教者ネット」「基地のない沖縄をめざす宗教者の集い」としては、来る2月14日オール沖縄会議主催学習会「南部戦跡からの土砂採取」の集会に合わせ、第2回「沖縄戦の慰霊と現地視察」沖縄訪問団を結成し、沖縄の市民・宗教者と連帯してまいります。

政府はコロナ禍の中であっても、辺野古新基地建設工事を中止していません。私たちも、コロナ禍の中、色々な制約があっても、創意工夫をして、継続して祈りの行動をつとめてまいりましょう。

集会へのご参加をお願いいたします。

2月4日（木）14：00～15：00
参議院議員会館 102会議室
☆国会議員の連帯挨拶があります。
◎集会後、国会議員会館前で祈念行動

宗教者共同声明「戦没者の遺骨が含まれている土砂を辺野古新基地建設に使わせてはなりません」にご賛同ください。宗教者以外の方々も賛同できます。現在、賛同団体73団体、賛同者5,964名（1月30日現在）です。下記のファックスにお名前・肩書きを書いて送ってください。Change.orgでも賛同できます。

☆コロナ対策を万全にしてお集まりください。

共催「平和をつくり出す宗教者ネット」
「基地のない沖縄をめざす宗教者の集い」

連絡先 090-1853-1446（武田）

ファックス 03-3461-9367